

No. 1 火葬場の変更に関する案件概要

議第1346号 横浜国際港都建設計画火葬場の変更

名 称		位 置	面 積	備 考
番 号	火 葬 場 名			
5	東部斎場	鶴見区大黒町	約 11,000 m ²	火葬炉 16 基

(内容)

本市においては、今後も高齢化が進展し、これに伴い火葬需要も増加し続けることが予想されます。

現在、本市の斎場（火葬場）は市営4斎場、民営1斎場で運営しています。これらの既存施設だけでは将来にわたる火葬の安定供給を確保することは困難であるため、新たな市営斎場整備の検討を進めてきました。

計画地については、将来における火葬需要の増加、既存市営斎場への交通利便性、災害時の被害リスクの分散化などを総合的に検討し、市域の東部方面が最も適切であると判断しました。

東部方面における具体的な計画地の検討にあたっては、敷地条件、災害リスク、周辺環境及び利用計画の視点から適性を確認したうえで選定しました。

また、「横浜市中期4か年計画 2018～2021」においては、今後も増加が見込まれる火葬需要に対応するため、東部方面(鶴見区)で新たな斎場の整備を行うとしており、「横浜市都市計画マスタープラン鶴見区プラン」においては、大黒町に東部方面斎場(仮称)を整備し、増え続ける火葬需要に対応するとしています。

ついでには、本市の将来にわたる火葬の安定供給及び市域東部方面における斎場への利便性向上を図るため、東部斎場を追加します。